事例No.	326
公表年度	H28
団体の属性	一般市
団体名	三重県桑名市

事例区分	公営企業

タグ	・下水道事業 ・（行政改革）業務の効率化 ・公共施設活用

事例種類	民間活用

事例内容・タイトル

「コストキャップ型下水道」（公共下水道事業）

出典

地方公営企業の抜本的な改革等に係る先進・優良事例集

○ 事例名等

事例名	コストキャップ型下水道
団体名	三重県桑名市
事業名(事業区分)	下水道事業(公共下水道事業)
法適用区分	全部適用

○団体及び事業の概要

行政区域内人口(人)	143,149	行政区域内面積(㎢)	136.68
供用開始年月日	昭和54年4月1日	処理区域内人口(人)	107,246
処理区域内面積(ha)	2,300.3	施設利用率(%)	412.26
職員数(人)	18	営業費用(千円)	4,088,526
営業収益(千円)	2,465,808		

※表中の計数はH28年3月末時点

1. 取組の背景、検討を開始した契機・導入過程

(1)取組の背景

桑名市の下水道事業は、平成27年度末時点の下水道処理人口普及率が75%に達しているものの、厳しい財政状況や団塊世代の退職による専門職員の不足などから、執行体制が脆弱となっており、思うような進捗が図れない状況となっていた。

このことから広範囲にわたる未普及地域の市民の方々から整備の推進を強く要望されており、早期の下水道整備が求められていた。

(2)検討を開始した契機・導入過程

平成26年1月に国土交通省は、環境省、農林水産省と連携し、3省統一の都道府県構想策定マニュアルを作成・公表し、今後10年程度を目途に各種汚水処理施設の整備概成を目指すこととなった。同年、三重県よりコストキャップ型下水道(※)に向けた提案を頂き、平成26年度より国土交通省並びに国土技術政策総合研究所、三重県と連携し、従来の下水道計画とは異なる新しいアプローチとしてコストキャップ型下水道の検討を進めた。

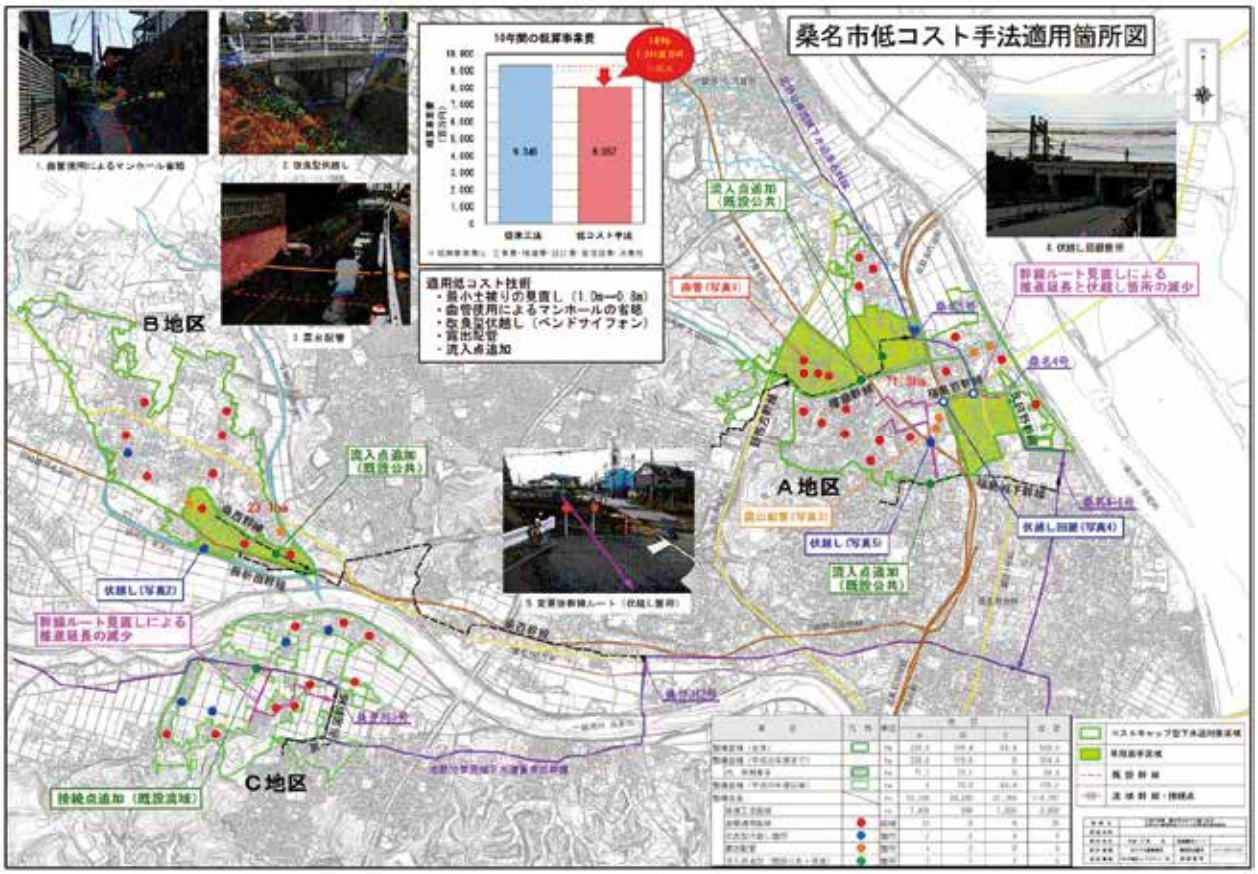
(※)厳しい地方財政を前提とした投資可能額等の整備目標を設定し、新しい手段(低コスト手法)の活用を検討したうえで、持続的な下水道経営(施設建設及び維持管理等)を目指すもの。

H26.4.24	第1回検討会	桑名市へ現地視察
H26.7.23	アクションプラン策定に向けた情報交換会(第1回)	大阪にてコストキャップを実施する他市町と意見交換会
H26.8.19	第2回検討会	国交省の委託コンサルタントによる提案書により打合せ
H26.10.16	コストキャップ型下水道に関する打合せ会(第1回)	財政面の精査、候補地C地区の浄化槽現状報告、H27の基本設計の指示
H26.12.18	アクションプラン策定に向けた情報交換会(第2回)	東京にて桑名市他2市において事例発表。情報交換会
H27.1.14	コストキャップ型下水道に関する打合せ会(第2回)	平成27年度の作業内容とスケジュールについて
H27.1.27	コストキャップ型下水道に関する打合せ会(第3回)	今後の方針の内容と実施時期および対応について
H27.3.19	コストキャップ型下水道に関する打合せ会(第4回)	平成27年度のスケジュール確認について
H27.5.21	コストキャップ型下水道に関する打合せ会(第5回)	実施に向けた具体的な方向性およびスケジュールについて
H27.7.6	コストキャップ型下水道に関する打合せ会(第6回)	実施に向けた具体的な方向性の検討およびスケジュールの確認について
H27.8.19	コストキャップ型下水道に関する打合せ会(第7回)	実施に向けた具体的な方向性の決定
H27.11.18	コストキャップ型下水道に関する打合せ会(第8回)	低コスト手法の検討、目標指標設定等について

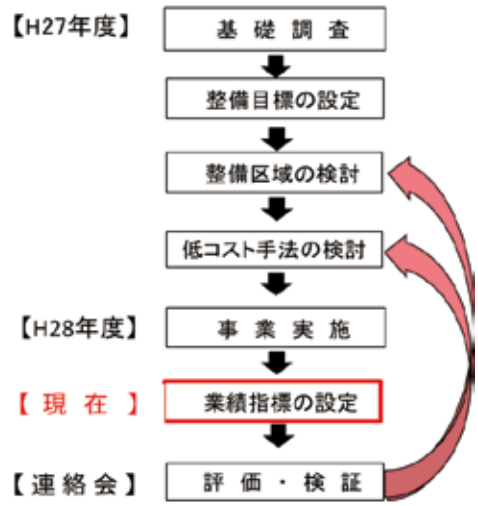
2. 取組の具体的内容とねらい、効果

(1)取組の具体的内容とねらい
・クイックプロジェクト技術等の低コスト手法の積極的活用や大規模工事発注の導入。
・民間のノウハウや技術力を活かす包括的性能発注の導入。
・平成28年2月23日に日本下水道事業団と「桑名市下水道10年概成対象整備区域の管渠整備に関する合意書」を締結し、日本下水道事業団への委託により10年間で公共下水道普及率を75%から約90%にするという目標を掲げ事業を進める。

(2)効果
・クイックプロジェクト技術等の低コスト手法の積極的活用や大規模工事発注の導入により、事業費を約14%削減の見通し。
・日本下水道事業団への委託により、職員の負担の軽減及び下水道整備の促進。



【作業フロー】



連絡会で検証・助言

1、事業進捗
●計画的に工事の整備がなされているか現状把握。課題があれば解決手法の検討。

2、業績指標
●「ヒト」、「モノ」、「カネ」の視点における分野ごとの現状評価を整理し、強みや弱みを把握。
●適切な指標を選定し、10年間の事業実施による効果（目標値）を設定
●指標に対する推移の確認。

3、事業効果
●経営面、市民満足度等あらゆる視点から効果を検証。

3. 他の自治体の参考となる点、今後の課題等

(1)他の自治体の参考となると考えられる点
・限られた職員および厳しい地方財政の中での下水道整備の促進

(2)今後の課題等
・地域の人的資源の活用
・下水道整備に伴う上水道等の移設

〇問合せ先

担当課	桑名市　上下水道部企画総務課、工務課		
TEL	0594-49-2005	MAIL	kikakusm@city.kuwana.lg.jp